



【さくら小学校】

＜第5学年：つくろうさくらのバリアフリー＞

自分の身近な場所や場面での福祉について考え、調べ学習を行った。調べ学習を通し、社会では高齢者や障がい者など、様々な立場の人が生活をしていること、そして全ての人々が生きやすい社会にするためにバリアフリーやユニバーサルデザインという考え方があることへの理解を深めた。また、ゲストティーチャーを招き、1学期には高齢者体験、2学期に福祉体験を行った。実際に体験し、感じることで、障がいのある人やその生活について視野を広げることができた。

これらの経験や学びを通し、様々な考え方や生き方があり、個性を尊重することの大切さや尊さを児童は感じていた。また、障がいの有無や年齢などに関わらず、誰もが幸せに自分らしく生活できるために、自分たちに何ができるのかを考え、実践していこうという意欲を高めた。



＜特別支援学級：みんなで調理をしよう＞

季節に合った野菜を種や苗から育てる活動を行った。野菜を育てる楽しさや大変さ、達成感を体験し、食べ物の有り難みについて考えることができていた。また、収穫した野菜はジャーマンポテトや大学芋などに調理した。育てた野菜を自分たちで調理することの楽しさや、苦手な野菜も調理によっておいしく食べる喜びを味わうことができた。

また、ジャガイモや玉ねぎなどたくさん収穫した野菜は、「さくらのやおや」として教職員を対象に販売を行った。自分たちの手で販売することの責任や、お店の看板を準備したり声掛けを考えたりする楽しさを感じることができた。

生活に欠かせない食を自分たちの手で作り、よりよい方法で消費しながら持続可能な社会づくりを考える活動になった。

